

「中央」と「地方/地域」：差別と犠牲のシステム

～福島・沖縄・水俣～

宮北 隆志

1. はじめに

今日の講義のタイトルは、“「中央」と「地方/地域」：差別と犠牲のシステム”です。きわめて大きなテーマであり、私自身きちんと整理できているわけではありませんが、私の話を通して、「水俣」のことを、皆さん方自身の問題とするための手がかり一つとして欲しいと考えています。

また、同時に、熊本に住む私たちにはよく見えない、或いは、よく見えなくなりつつある「福島」や「沖縄」の問題にも、更には、国外の問題、すなわち、近代化/工業化の過程で日本が経験してきたいわゆる「公害問題」や「地域社会の急激な変容」に向き合うタイやミャンマーの人々の問題にも目を向けるきっかけとして貰えればと考えています。

2. 今日の話の背景

- ・公式確認から57年目が経過する水俣病事件
- ・2011年3月11日の原発事故（事件）
- ・「普天間基地の移設？（新たな基地の建設）問題」に象徴される沖縄の基地問題
- ・環境被害に関する第2回国際フォーラム ～水俣病・失敗の教訓は活かされたのか～

3. 3つのキーワード 「中央」、「地方/地域」、「差別」

4. 「中央」と「地方/地域」という視点で再整理したい課題

- 1) 福島第一原発事故（事件）
 - ①原発立地審査の指針
 - ②核燃料サイクル/核廃棄物の処理

2) 水俣病事件史

- ①水俣病公式確認（1956年）前後の水俣病事件に対する初期対応をめぐる問題点
- ②「特措法」に基づく地域振興策：「環境首都」水俣創造事業

3) 沖縄の基地問題

- ①嘉手納爆音訴訟
- ②オスプレイの強行配備と市街地での演習
繰り返されるヘリやジェット機の墜落事故
- ③返還される基地跡地の有害物質汚染

4. 「福島」、「水俣」、「沖縄」の過去と現在から見えてくること

「失敗の教訓」を将来に活かす

「地域」固有のローカルな問題に多様なメンバーで向き合う

→生活者主体の地域の運営/統治（ガバナンス）

参考文献：宮北隆志（2010）熊本学園大学水俣学ブックレット No.8 『失敗の教訓を活かす 持続可能な水俣・芦北地域の再構築』第4章 水俣・芦北地域戦略プラットフォームの取り組み

5. 海外の事例紹介：「失敗の教訓」を将来に活かす水俣学研究センターの取り組み

タイ・ラヨーン県での取り組み

参考文献：宮北隆志（2011）マプタブット工業団地の拡張をめぐる諸問題の現状と課題、水俣学研究 第3号、83-013